



# さざんか

かとう学園 宗像市立河東中学校  
学校通信第14号(R5. 6. 28)

## 今年も授業研修がはじまります～先生たちの授業力向上の取組 2023～

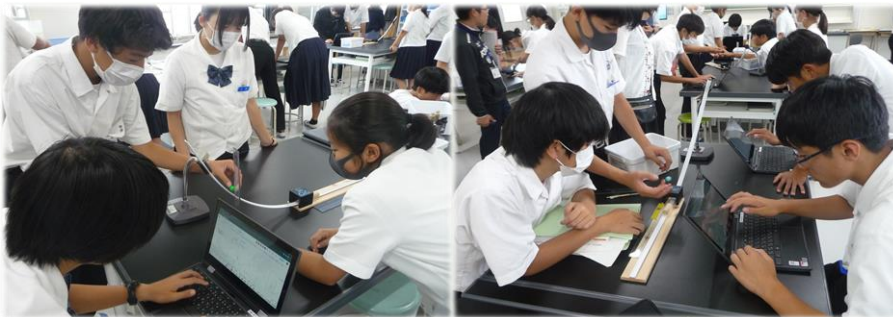
今年も河東中学校では、先生たちの授業研修が始まりました。授業研修の目的は、先生たちの授業力を高めることにより、生徒のみなさんの学力の向上を図るものです。そのため、先生たちは一人年間 2 回の公開授業を行い、授業後は研究協議会を開いて研修します。中学生のみなさんが、一日の生活の中で最も多くの時間を過ごすのは、睡眠時間を除けば授業時間が最も多い時間です。その時間が楽しければ一日が楽しいでしょうし、わかる授業・できる授業は、学力アップだけでなく充実した一日にもつながります。そこで、先生たちは授業の腕をさらに磨こうというわけです。これから2月までこの研修が続きます。たくさんの先生たちが教室を訪れ、授業を見合って授業研究をしていきます。

### 授業研修の風景

昨日からはじまった授業研修。先陣を切って公開授業を行ってくれたのは、今年の ICT 主任に就任した 9 年生担当の野口先生。河東中が誇る ICT の使い手の授業。仕事と力学的エネルギーの関係を実験を通して分析しました。

### 野口先生(理科)

ビー玉とプラ玉がレールを走り、当たった木片の移動距離を測る。玉の速度も図る。高さや傾きはグループによって様々。バリエーションの豊富な実験が行われた。



今回の野口先生の授業の優れている点は、実験前の予想と結果が一致する場合と予想外の場合とははっきりわかる点です。そうなるために、野口先生独自のソフトで、データが即座にグラフ化され可視化されるとともに、考察に時間をかけるよう工夫されていました。まさに ICT の効果的活用の研究成果の表れです。それが生徒の理解に影響していることがよくわかる優れた授業でした。

## 夏の大会に向けて～部活動・クラブチームの決意表明 Part5

### 【 吹奏楽部 日高 帆乃美さん 】

こんにちは、吹奏楽部です。私たち吹奏楽部の目標は、コンクールで県大会に出場することです。そのために、基礎から丁寧に音づくりをしています。また、マーチング練習で、一人ひとりが周りを見て行動することの大切さを学びました。これまでに学んだことを生かし、周りをよく見てお互いに声をかけ合うことで、より良い練習の雰囲気をつくっていきます。そして、コンクール本番では、みんなで楽しく、悔いの残らないよう河東中サウンドをつくりあげます。応援よろしくお願いします。



### 【 新体操部 樋口 美紅さん 】

こんにちは、新体操部です。私たちは7月に行われる筑前地区大会・10月に行われる新人戦に出場します。県大会進出を目標にミスせず、笑顔で演技ができるように頑張ります。そのために、一日一日の練習を大切に、練習を本番のように、本番を練習のように落ち着いて、日頃先生から注意を受けていることを意識して良い結果が出せるように頑張っていきたいと思います。そして、本番で悔いが残らないように全力で演技するので、応援よろしくお願いします。



## 8年生・乙藤睦拓さん、BリーグU18リージョナルリーグへ参加



河東中生8年2組の乙藤睦拓さんは、Bリーグの下部組織であるライジングゼファー福岡ユースに所属しています。BリーグU18の35チームは、4地区に分かれ、6月からリーグ戦を行います。このリーグの目的は、世界に通用する選手やチームの輩出にあるので、高いレベルでの試合になります。ライジングゼファーは南地区のリーグです。この度、乙藤さんはこのリーグに参加することになりました。初戦は、24日(土)25日(日)に沖縄で開催されました。この後、熊本と広島でリーグ戦が続きます。みんなで応援しましょう。

## 河東中が目指すリベラルアーツについて

～6月23日の西日本新聞の記事を読んで思うこと～

先週の西日本新聞に次のような記事が掲載されていました。「2023年のアジア大学ランキング」です。これは、イギリスの教育誌タイムズ・ハイヤー・エデュケーションが毎年発表しているアジアの大学のランキングです。大学の講義の質や研究環境・論文の数・教員数など13の指標によるものです。今年もトップ2は中国の大学です。東京大学は8位です。

ある国立大学の大学院生がこう話していました。「中国からの留学生の勉強時間と学問に対する意気込みには圧倒される。あの勉強量には太刀打ちできない。しかし、その中国の留学生の話によると日本の大学で学ぶ中国の学生は3流であって、中国本土に残っている1流の清華大や北京大の学生の力は自分達には遠く及ばない。」のだそうだ。

その話から想像すると、アジアランキングの上位に位置する中国の学生がそれぞれの分野で力を発揮すれば、日本はどうなるのだろうと思います。例えば、かつて世界を席巻したトヨタの自動車やソニーの電化製品に、中国の頭脳が対抗したらこれから先はどうなるだろうと思ってしまいます。

スマホやSNSに時間を食われている日本の大学生と環境が整った中国の大学生。10年後、20年後どうなるのだろう。ちなみに清華大学は、世界の大学ランキングでは16位にすぎません。

同じように、昨日「国際競争力ランキング」が今年も発表されました。日本はまた一つ順位を落として35位になりました。

しかし一方では、15歳(中学卒業時)の国際的な学習到達度調査(PISA)では、今も日本の子どもたちの学力は世界のトップです。国際比較では、河東中生の学力も河東中の授業も世界トップクラスとっていいでしょう。河東中生には、卒業後も河東中で学んだ「学び方」を大人になっても継続して学び続けてほしいと思います。河東中では特定の教科に力を入れるのではなく、10教科すべてに質の高い学習ができています。ある教科の学習は別のある教科に好影響を与えています。これをリベラルアーツといいます。テストの結果だけでなく、勉強それ自体の面白さや楽しさを身に付けてほしいと思います。定期考査が終わった今、好奇心を旺盛にして本当の勉強を積み重ねてほしいと願っています。

### 2023年の アジア大学ランキング

1	清華大(中国)
2	北京大(中国)
3	シンガポール国立大(シンガポール)
4	香港大(香港)
5	南洋理工大(シンガポール)
6	香港中文大(香港)
7	香港科技大(香港)
8	東京大(日本)
9	復旦大(中国)
9	上海交通大(中国)
18	京大
34	東北大
47	大阪大
49	名古屋大
56	東京工業大

※英教育誌タイムズ・ハイヤー・エデュケーションによる